

デジタルアーカイブの新しい利活用 ～高大連携による地域課題探求型学習への活用～

山田紗弥・久世均（岐阜女子大学）・熊崎孝之（岐阜県教育委員会）

1. 地域課題探求型学習への活用

G高等学校（以下、G高校）が推進する「地域をテーマにした課題探究型学習」として、岐阜女子大学がG高校と共同で観光冊子「郡上探訪 郡上であそぼ」を制作した。（図1）

実践校であるG高校は中山間地域に所在する学年3クラスの小規模校で、地域を学びのフィールドと位置づけ、将来、郡上市に貢献できる人材を育成するための課題探究学習に取り組んでいる。

「UIJターンの促進・支援と地方の活性化―若年期の地域移動に関する調査結果―」（独立行政法人労働政策研究・研修機構2016）では、地域社会の課題や魅力に着目した探究的な学びの経験は、生徒自身が地域社会をよりよくすることができるという実感をもつことになり、地域への愛着につながると述べられている。このことから、地域との連携は生徒の進路選択に一定の影響を与えるものと考えられる。

本実践は、中山間地域における学校での課題研究または総合的な探究の時間のふるさと教育の具体的な実践であり、高等教育機関や地域と協働の例として他校でも実施できる取り組みになると期待できる。



図1 「郡上探訪 郡上であそぼ」

2. 地域資源デジタルアーカイブ冊子「郡上探訪 郡上であそぼ」

観光冊子を制作した地域産業探求という授業は、地域産業コースに所属する生徒が選択科目として履修し、本来であれば4月から毎週木曜日に県内にある職業能力開発校での実習を経て、6月から郡上市内の製造業、建設業での就労実習をする予定であった。つまり、この科目を選択する生徒は基本的に郡上市内での就職を希望する生徒が多いことが特徴である。

この地域産業探究は、本来郡上市内の就職を目指す生徒のために実習を実施する科目であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、8月まで校外での実習を自粛せざるを得ない状況下になった。そのため校内で実施できることを検討したところ、シラバスに「①地域の各種産業を支える機関と連携を図り、地域の産業を幅広く知る。②実習、体験学習を通して社会人に求められる様々な能力を養い、郡上を誇りに思い、郡上に貢献でき、郡上を支える人材の育成をする。」とあり、この期間において、郡上市を知ることに重点を置いた実習を組むことにした。オリエンテーションを実施する中で、生徒から「コロナ禍で郡上市外へ出かけることが難しい時だからこそ、地域の観光地を調べ、郡上市民に知ってもらいたい」という意見がでた。このような生徒の前向きな意見を取り上げることで生徒の主体性を伸ばせると考え、その意向を汲んで観光冊子を岐阜女子大学と連携して制作することにした。

3. 地域課題探求型学習への活用

本実践は、観光立市を掲げている郡上市がコロナ禍で観光客が減っているからこそ、地域住民で観光地を盛り上げたいという願いから生まれた。これは、地域の抱えている課題を解決するために観光冊子を作成することで解決策を模索するという、地域をテーマにした課題探究型活動であった。また、観光冊子を制作するにあたり、事前に観光地を調べてくことや、期限までに原稿を完成させるなど計画的にこなしていくことや、観光地をプレゼンテーションした際に指摘されたことを粘り強く改善する活動は探究のPDCAサイクルを何度となく回している。取材で地域住民と対話すること多くあったが、生徒が取材を重ねていく中で、生徒が「楽しさ」を実感している場面も多々あった。実際に、観光冊子づくりは8月末で一旦終了をしたが、生徒自ら、来年度の改訂版にも関わりたい、また取材に行きたいと述べていたことから伺えた。それは、地域住民という当事者である彼らが、郡上市の観光資源を発掘したと感じ、そのことを多くの人に知ってもらいたいと思うだけでなく、その思いを具現化する手段を得ているからだと推察している。使命感とともに充実感、そして達成感を得ているからこそその発言だと捉えている。

また、本実践をきっかけにして、学校全体にオンライン学習と探究学習の広がりを見せている。観光冊子を作成するにあたって岐阜女子大学と連携してオンラインで講義を受ける様子は、多くの教員が参観し、その価値が校内でも広まることに寄与した。様々な場面で、オンラインだからこそできることが検討され、「総合的な探究の時間」では高大連携でのオンラインを利用した新しい展開ができるようになった。

このような、様々な地域の人々から話を聞くことや、他県の大学生・高校生と交流することは、どちらかという人間関係の変化が少ない中山間地域の生徒の視野が広がるのが期待できた。さらには課外活動である郡上市総合計画策定に向けた市民意見を提案するみらい会議に参加するなど本活動が大きく広がりを見せた。この会議で出された、郡上市の活性化のために廃校を観光や市民活動の拠点として活用する提案や、少子高齢化が進む中で支えあう社会づくりのために高校生サポーター団体をつくる提案は、オンラインツールを利用して地域住民に発信され、地域の方と連携して実現に向けて拡充している。これらの活動でも、観光冊子を制作したことが活かされている。